



『ゆめのたね』を

副校長 和田 みずほ

臘梅の便りが届き、校門の紅梅が咲き始めました。春の足音が聞こえてくるようです。時折、教室を訪問して、本の読み聞かせや紹介をしています。



『どうぞのいす』は、うさぎが作ったいすに次々とプレゼントが置かれる物語です。1年生に読み聞かせをしたところ、「木の下にいすを置いたうさぎは親切だね。」「プレゼントを置いてもらった人は嬉しかったと思うよ。」「ありがとうっていうところがすきです。」「分けて食べるとうれしくなるね。」「どうぞって優しい言葉だね。」というように他を思いやることや分かち合うことの温かさが感想として語られました。

ひさかたチャイルド

作 香山 美子 絵 柿本 幸造

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』は、ウルグアイのムヒカ大統領が2012年ブラジルのリオデジャネイロで行ったスピーチを子供向けの表現に意識した絵本です。この会議は、環境が悪化した地球の未来について話し合うために開かれました。小さな国のムヒカ大統領の話は、はじめ、あまり関心を抱かれてはいませんでした。しかし、演説が終わったときムヒカ大統領は大きな拍手に包まれます。それは、ムヒカ大統領の幸福観が参加者の共感と呼んだからだと思います。



汐文社 くさばよしみ 編 中川 学 絵

横浜は、江戸時代の終わりまで小さな漁村でしたが、1859年、横浜の港が開かれて以来、外国からもたらされた文化を意欲的に取り入れ、目覚ましい発展を遂げました。進取の気性に富んだ先人たちは、大きな夢を抱いて新しいまちづくりに取り組んだのです。横浜の人は思い描いた夢を一つ一つ実現してきました。自分の理想の未来を夢に描くことの一助となるように、子どもたちの心に「ゆめのたね」を蒔いていきます。



港南台第一小学校 重点研究テーマ

「育てよう!思いや考えをもつ力・高めよう!伝え合う力」

～主体的・対話的で深い学びの実現へ向けて～



本校では、一昨年度から国語科の授業を研究しています。授業の様子を教員同士で見合い意見を交わしたり、講師を招いて授業の改善点を指摘していただいたりして、授業力の向上を目指しています。

今年度は、このような状況下ですが、「思いや考えをもち、伝え合う」子どもの姿を追い求め、子どもの具体の姿を大切に研究を進めてきました。

1年生 かくれんぼカードでシーパラダイスをつくらう
～「うみのかくれんぼ」～



6年生 お気に入りの絵を、キャプションで紹介しよう
～『鳥獣戯画』を読む「調べた情報の使い方」～



まず、教材文の言葉を動作で表しながら、意味を確認します。次に、サイドラインを引いたり、内容のまとまりにシールを貼ったりしてかくれんぼカードに必要な情報を取り出します。その後、友達の考えと自分の考えを比べ内容の理解を深め、かくれんぼカードを完成させました。

「楽しい!楽しい!できる!ばく!」と言いながら学習する児童の姿が見られました。学習の目的をもち、学び方を知ることによって、楽しみながら、言葉の学びに取り組むことができました。

児童は、教材文を繰り返し読み、絵を評価するために必要な言葉を見つけ出したり、タブレット端末を用いて友達の考えと自分の考えと比べたりして、言葉の使い方について考えを深めることができました。評価語彙を集めたり、筆者の表現の工夫を見付けたりしたことで、これまでよりも語彙が豊かになり、表現力豊かにキャプションにまとめました。

教材文や友達との対話を通じて、一人ひとりが言葉と向き合い、自分の課題を解決するために主体的に学ぶことができた単元でした。

2年生 1年生がよろこんでつくりたくなっちゃうおもちゃのせつめい書を書こう
～「馬のおもちゃの作り方」～



説明の言葉について、一人ひとりが教材文の言葉を吟味する作業を行うことで、どんな言葉を使うと説明するために有効かを自分事として考え、課題解決を行いました。実際に自分のおもちゃの説明書を書く活動で、自分の説明に生かすことができました。

3年生 読んだことをもとに、3の1こま図かんをつくらう
～「こまを楽しむ」～



「3の1こま図かん」を作るために必要な情報を探出す力を教科書を使って身に付けました。その後、身に付けた力で他の資料から必要な情報を見付ける活動を行いました。これは、教室での学びと日常の言語生活との橋渡しのための活動です。学びが教室で終わらずに生活で生かされるように単元を構成しています。

4年生 和紙のよさをリーフレットで伝えよう
～「世界にほこる和紙」～



本物の和紙を児童に見せると「わあ、きれい。」「柔らかくて温かい感じがするね。」などの歓声が上がりました。和紙のよさをリーフレットで伝えるという学習の目的をもち、学習計画を立てるところから単元の学習を始めました。

5年生 YOSHI(よし・要旨・用紙)書くぞうカードを書いて発表しよう
～「言葉の意味がわかること」～



筆者の考えにサイドラインを引き、それに対する自分の意見を書いた付箋を貼ったり、構成別のワークシートを活用したりすることで内容を理解することができました。また、思考ツールを使うことで、日本語と英語の言語の違いを理解し、日常生活での自分の経験を語るすることができました。

人権教育 人権キャラバンを実施しました

本校では、人権教育テーマ「誰もが、安心して、豊かに生活できる」を視点に、すべての子供が自尊感情をもち、高められるような取り組みを進めています。今年度も、人権教育の一環として命の尊さや思いやりの心などの人権意識を養うことを目的として、人権擁護委員会から委員の方が数名来てくださり、児童に直接語りかける「人権キャラバン」を人権週間に合わせて実施しました。

体育館でお話を聞いた後、クラスでふりかえりました。子どもたちが話を通して感じたことや考えたことを、昇降口前の廊下に掲示しました。多くの児童が立ち止まり、友達の感想や意見をじっと読んでいました。大人の話だけではなく、友達の考えや感じ方を学ぶ良い機会になりました。「みんなでなかよく気持ちよく過ごすために。」や「勇気を出して気持ちを伝える。」などの言葉が多くあがりました。



低学年のふりかえりより

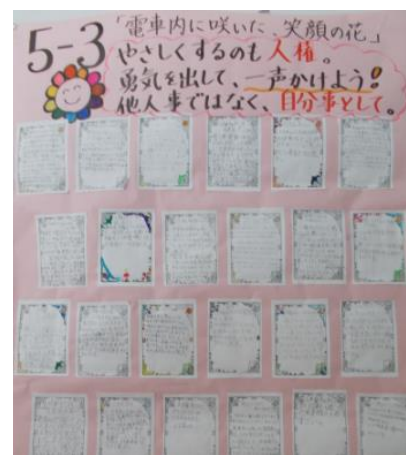
- ・いじわるやうそは、ダメと教わりました。また人権キャラバンの勉強をしたいと思います。
- ・自分はなんとも思っただけでも、相手が傷ついているかもしれないのは怖いです。これからは、人の気持ちをもっと考えて行動したいと思います。



- ・けんかをした時には、自分のどこがいけなかったかをしっかりと考えて謝りたい。自分と違う考えの人もいることを思えるになりたい。
- ・いやだなと思うことは、先生やお母さんに言うことが大事だと思った。

高学年のふりかえりより

- ・人権の新しい種類について知りました。困っている人がいたら、助けたいと思いました。
- ・「笑顔の花」とは、助け合って生まれるものだと考えました。
- ・正しいことは最後まで貫き通すといいと思います。



ユニセフ募金

学校全体で64355円集まりました。
皆様からの温かいお気持ちをユニセフに送金いたしました。
ご協力ありがとうございました。

